

厚生連ながの

KOUSEIREN
NAGANO



Vol. 99 2024.Apr

2 新年度事業方針

4 能登半島地震被災地支援
当会事業所のDMAT活動

6 当院のやさし医、たのし医、くわし医、お医者さん

8 旬菜堂

9 健康相談 Q&A

10 佐久総合病院看護専門学校だより

11 トピックス

「依田川鯉のぼり」 宮下祐典
鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
鹿教湯病院



新年度事業方針

長野県厚生連

代表理事理事長

洞 和彦
ほら かずひこ



まず最初に、本年1月1日に発生した能登半島大地震において、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、1月2日の早い段階からDMATとして活動し、その後も継続した派遣を可能にした関係者の皆さまに感謝申し上げます。1月2日の段階で現地に集結したDMAT18団体のうち3つが長野県厚生連所属のものでした。素早く対処していただいたことを誇りに思っております。

さて、当会は厚生連理念のもと地域に根付いた保健福祉・医療・介護事業を展開し、地域のセーフティネットワークを構築

してきた自負を持っています。今後も持続可能な事業展開のため、各事業所のさらなる経営努力が求められます。

令和6年度は当会にとつて試験の年度となりそうです。経営面に目を向けても新型コロナウイルス感染症関連の補助金の打ち切りに加え、診療報酬および介護報酬の改定、それと付随した医療従事者の賃上げなど不確定要因があります。他にも課題は山積ですが、そのようなにあつても、我々はアフターコロナの時代に則した感染防止対策の徹底と医療提供体制の効率化を進め、さらには医師の働き方改革や地域医療構想の対応も含めた本会の永続的な安定経営を実現するために、質の高い保健・医療・介護サービスを提供し、経営の健全化、安定化、内部統制の強化に努めることも、さまざまな組織改革、改善に取り組み、事業計画を達成する責務があります。皆さまのご協力を仰ぎながら業務に邁進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

新年度事業方針

事業所長

佐久総合病院

統括院長

渡辺 仁
わたなべ ひとし



佐久総合病院は令和6年1月に創立80周年、3月に佐久医療センター開院10周年を迎えました。従業員数約2,400人、地域の医療・保健・福祉を包括的に担う病院グループとなりましたが、人口減少と経済低迷のなかでの運営は、これからが正念場です。「地域とともに」を合言葉に、地域の皆さまと一緒に悩み、考え、行動しながら、安心して暮らせる地域づくりを行なつてまいります。世界の平和を願いつつ、新年度の挨拶とさせていただきます。

浅間南麓こもろ医療センター

院長

橋本 晋一
はしもと しんいち



人口減少、少子高齢化。医療、介護の必要性は高く維持されながら労働人口は減少していく、誰も経験したことがない時代を迎えます。病院理念「医療は住民のもの」を守るために一番大事なこと。それは、職員一人ひとりが仕事に喜びと誇りを持ち続けられることであり、そのような環境を整備いたします。その結果、地域の皆さまが笑顔になれる医療が提供できると考えます。今年も引き続き地域の皆さまと共に地域医療を進めてまいります。

北アルプス医療センターあづみ病院

統括院長

松田 正之
まつだ まさゆき

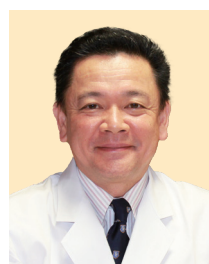


今年度から事業所長を担当することになりました。大北地域の中核病院としての基本的な機能を総点検し、最新の医療情勢と地域のニーズに沿って適宜アップデートしながら、近隣の医療機関や老人保健施設との連携を通して診療体制の維持・発展をめざしてまいります。

長野松代総合病院

統括院長

瀧澤 勉
たきざわ つとむ



現在、病院を取り巻く環境は大きく変化しています。今年度は診療報酬・介護報酬の同時改定が行われ、働き方改革、医療の集約化にも本格的に対応しなければなりません。限られた医療資源を有効かつ効率的に活用し、医療連携をさらに充実させ、課題解決に取り組みたいと考えています。

当院は引き続き、病院理念にある「安全で良質な医療」の提供により地域に貢献し、地域に愛される病院づくりを職員一丸となつてめざしてまいります。

新年度事業方針

事業所長

北信総合病院

統括院長

荒井 裕国
あらい ひろくに



新年度を迎え、昨年度の業績がゼロ点にリセットされ、病院運営の新たな長距離マラソンが始まりました。今年度は、新型コロナウイルス補助金の打ち切り、保険改定に伴う各種加算の要件変更、医師の働き方改革と難題が山積しており、向かい風に砂利を背負って走るが如き重たいスタートです。地域医療に穴を開けることなく、地域の暮らしと健康を守るため、変化を厭わず改革に取り組んでまいります。宜しくご支援のほど、お願い申し上げます。

鹿教湯三才山
リハビリテーションセンター

統括院長

大澤 道彦
おおさわ みちひこ



今年の秋にⅡ期工事が終了し、外構を残して鹿教湯病院の建物工事は完了する予定です。我々が令和6年度に心すべきことは次の通りと考えています。

- 一、無事に建築工事を完了させる。
- 二、適切な人事異動によりセンター内の態勢を整える。
- 三、経営の安定を念頭に効率的な病棟運用を行う。
- 四、職員の労働環境改善および長期的視野に立った診療体制の強化をめざす。
- 五、令和10年度の黒字化を必達事項と捉え、新年度の収支計画を達成する。

南長野医療センター

統括院長

宮下 俊彦
みやした としひこ



医師の時間外労働規制を伴う働き方改革が始まりました。今年度、当センターのスローガンは「働き方改革をすすめ、自らが考え行動し、成長できる職場環境をつくり、より良い医療を提供する」としました。超勤時間ばかりが注目されますが、初代の新村明篠ノ井病院院長が提唱した「すべての医療人はベッドサイドへ」をもとに、働き方の意識改革を行い、全職員が連携することにより、患者さんにも職員にも優しい病院となることを願います。

富士見高原
医療福祉センター
富士見高原病院

統括院長

矢澤 正信
やざわ まさのぶ

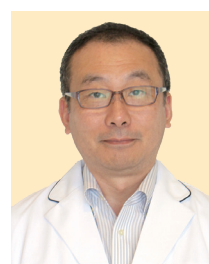


長期にわたる新型コロナウイルス感染症対応で希薄になった地域住民や社会とのつながりを戻し、在宅療養支援を自分たちの医療福祉の基本と考えて医療介護の一体的実践を推し進めます。地元行政やJA、他の医療介護事業者と協働し、医療介護基盤の要として持続可能で安定した地域社会の実現をめざします。また、諏訪から上伊那まで複数圏域に分散する施設の地域に即した維持を模索しつつ、次々年度に迎える創立100周年への準備を行います。

下伊那厚生病院

院長

朔 哲洋
さく あきひろ



診療報酬の改定に伴い当院は大きな変化を迎えます。新設された「地域包括医療病棟」への転換の検討を行います。外来では内視鏡の体制強化、喘息やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）やエコーなどの充実をめざします。また、生活習慣病（糖尿病、高血圧、脂質異常）の指導体制を多職種チームで行う体制づくりをめざします。

長野PET・
画像診断センター

センター長

今井 豊
いまい ゆたか



アルツハイマー病で脳内に異常沈着するアミロイドβを減少させる薬剤「レカネマブ」がアルツハイマー病による軽度の認知障害と軽度認知症に対する治療薬として保険適用となりました。同時に脳内アミロイドβプラークを可視化できるアミロイドPET検査もレカネマブ導入目的に限り保険適用となり、新年度より当センターでも開始しました。施行には依頼医の資格や患者さんの状態、認知機能評価や頭部MRI検査などが必要となるのでご留意ください。

能登半島地震被災地支援

当会事業所のDMAT活動

当会では、1月1日の能登半島地震発生後、翌日から佐久総合病院、北信総合病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院のDMAT（災害派遣医療チーム）を能登半島地震の被災地へ派遣しました。被災地へ入った各病院DMATからの現地での活動について報告します。

佐久総合病院



佐久総合病院では今回の震災に際し、1月2日から2月11日にかけて計5陣のDMATを派遣しました。主な活動場所と内容は次のとおりです。

●活動場所

公立能登総合病院（全国DMATの参集拠点）、珠州市総合病院、公立穴水総合病院、輪島市役所（輪島市保健医療福祉調整本部）、いしかわ総合スポーツセンター（避難所・仮設老人保健施設）



▲土砂崩れや陥没、地割れによる厳しい道路状況



▲公立能登総合病院でのDMAT全体ミーティング

●活動内容

病院支援指揮所の設置・運営、患者転院搬送、救急外来支援、入院患者対応、物資運搬、医療・福祉施設の巡回、屋内環境の復旧、仮設老人保健施設の入退所管理と緊急対応、避難所の面会者受付と体調不良者の診察、など

現地では、道路の損壊で陸路アクセスが困難を極めたこと、上下水道をはじめとするライフラインが寸断されたこと、地域の医療資源が限られていたことなど、さまざまな問題がありました。

当院のDMAT本部では全派遣期間にわたり情報収集や広域災害救急医療情報システム（EMIS）入力、派遣隊員の選出、移動手段・宿泊の確保など安全を第一に後方支援をしました。またこのほか信州ドクターヘリ佐久、災害支援ナースなども派遣しました。

今後も災害に備え、支援を継続してまいります。被災地域の復興を心よりお祈り申し上げます。

北信総合病院



県の要請に基づき、当院DMATは地震発生翌日の1月2日より珠洲市、輪島市で約1か月間の医療支援を実施しました。

1次隊はライフライン寸断による病院機能低下のため診療機能の回復と入院患者、重症者の搬送を主とし、珠洲市総合病院での活動本部設置と夜間の救急診療支援を実施。2次隊は4日に珠洲市へ出動、124時間後に救出されたクラッシュ症候群患者の金沢市への救急搬送



▲珠洲市総合病院 救急外来診療支援



▲救急搬送（珠洲市総合病院）
124時間後に救出された患者さんを金沢市まで救急搬送

のほか、市内の避難所診療を実施。3次隊は17日より輪島市内へ拠点を換え、医療支援と金沢市内への患者搬送、4次隊は2月1日より避難所巡回診療を実施しました。

派遣人員は医師4人、看護師8人、業務調整員（事務、医療技術職）7人の計19人が支援にあたりましたが、その間、留守にする出動隊員の職場では多くの職員の協力をいただきました。ありがとうございました。全職員と「ともに被災地を支えている」との思いで活動してまいりましたが、道路損壊による移動時間の消費で支援活動が短く「その時一番必要とされる医療支援ができたか」と日々問いておりますが、第一に安全と医療支援の継続を考え活動してまいりました。このたびの震災に際し、職員一同一日も早い復興をお祈りするとともに、地域災害拠点病院として、役割を果たしてまいります。

南長野医療センター 篠ノ井総合病院



当院のDMATは地震発生直後の1月2日から計4隊が出動しました。場所は被害の大きかった石川県珠洲市と輪島市に3～5日間の期間でそれぞれ出動しました。

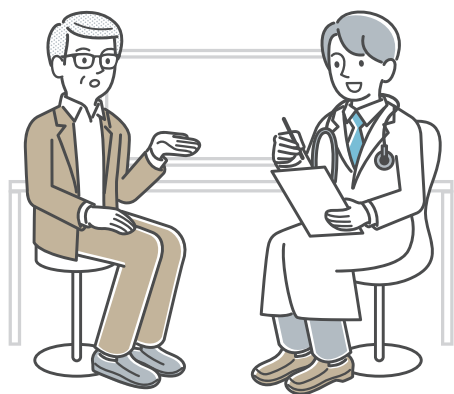
活動内容は「災害拠点病院」と呼ばれる被災地での医療の中心となる病院のサポート、そして各病院にいる入院患者を被災地外に搬送する業務でした。地震発生直後に出動した隊では道路状況が悪く珠洲市に到着するまで8時間以上かかりました。また電気や上下水道といったライフラインが全く復旧していないこともあり、活動は思うようには進まない面もありましたが少しでも現地の方々のお役にたてるよう頑張りました。

奥能登地域は山間地のなかに集落が点在しています。そのためDMATを含む援助隊がなかなか現地までたどり

着くことができず、救助や医療が遅れてしまった面があります。長野県でも同様の災害が起きる可能性もあり、我々DMATは迅速に対応できるよう日々訓練するとともに、災害時の避難方法や救護所の管理法など地域住民の方々への啓発も必要であると強く感じました。奥能登の復興はこれからなので、被災地の方々が少しでも早く元の生活に戻れるよう祈っています。“Pray for NOTO!”



▲空飛ぶ捜索医療団ARROWSとの搬送ミッション



本所職員が医師へインタビュー

当院の

やさし医、たのし医、くわし医、

お医者さん

浅間南麓こもろ
医療センター



生まれは千葉県の銚子市です。子どもの頃に喘息を発症しまして、割と病弱な人生を歩んでいます。長野に来たきっかけは、色盲の自分でも入れる大学が信州大学と数力所ぐらいしかなかったたので消去法で長野に来ました。また、家から離れたかったので遠くに住みたかった

Q1 出身地はどちらでしょうか

今回は、浅間南麓こもろ医療センター副診療部長の甲斐龍一先生にお話を伺いました。



浅間南麓こもろ医療センター
副診療部長／循環器内科部長

かい りゅういち
甲斐 龍一 先生

【略歴】

千葉県生まれ、信州大学卒。

気管支喘息持ちで、自分の病気を解明したくて、当時の呼吸器内科のあった第一内科に入局、紆余曲折を経て、循環器内科医になりました。

体を鍛えても病弱は治らず、医療を受けること頻回。ときには医学的な正しさを曲げてとも患者さんにとって受容できる医療を必要とする場面があると考えようになりました。

一つは遠藤周作という作家が肺癌に罹患されて、そのときの体験をエッセイに書かれていますが、医療者というのはこんなに凄いものなのだと感銘を受けました。もう一つは、自分の進路に口出ししなかった父が「家

Q2 医師をめざしたきっかけを教えてください

という理由があります。千葉からだいぶ時間のかかる長野を選びました。今は長野に完全になじんでしまっており、本当に気に入っています。



▲取材風景

循環器内科

中規模病院として、できることに限りはありますが、そのレベルでの役割を全うしております。

また、同じことの踏襲に甘んじず、できる範囲で新しいことを取り入れてきました（カテーテル検査のFFR、終夜睡眠ポリグラフィー、心臓リハビリテーション、カテーテルアブレーション）。

他に誇る点として、技術スタッフは優秀です。

の関係者に医者がいるといい」とつぶやいたのにも、少し影響を受けたのではないかと思います。元々は、人と話をするのが好きなのでジャーナリストになったかったのですが、高校2年生の終わりのときに進路を変えて今に至ります。

Q3 患者さんや普段の診療に際して心がけていることはありますか

手を抜かずにいれば気づけることを見逃さない。これを当たり前にして仕事することを心がけています。また私は結構病気になることが多いので、医療者が考えるベストということが必ずしも、その患者さんにとっての望みを叶えるものではないというのを痛感します。基本的にベストをめざすことを提示しますが、患者さんにとってそれが不都合ならばベターな方法でもいいのではないかと、患者さんの事情を考えて治療を提示するようにしています。また管理者としては、これまで多くの人

の助力で今の自分があると思っておりますので、スタッフがやりたいことをやるよう道を作ることが、自分の仕事なのだろうと考えております。

Q4 こもろ医療センターの良いところを教えてください

こもろに来て約20年目ですが、スタッフが優秀な病院だと思います。



▲カンファレンスの様子

例えば一日分、心電図を記録して解析するホルター心電図という検査があります。本来すべて解析するには、大体2週間ぐらいの時間が必要ですが、患者さんから症状があつたことを聞くと、その部分だけを短時間で解析して、その日のうちに医師の私に届けてくれる、そういうことを自発的にやっていたことがよくあります。それで事なきをえた患者さんもうつしやいます。本当にスタッフが優秀だということです。当院の大きな利点、武器だと思っています。

Q5 趣味を教えてください

趣味は子どもに遊ばれることです。ポケモンのカードとか、ベイブレードなど子どもが始めると、自分も一緒にやって



いて、自分の方がのめり込むという感じで過ごしております。また、学生時代は麻雀と柔道をやっていました。

地域の方へ一言お願いします

一つの病院で、すべてのことができる時代ではなくなってきたので、当院で果たせる役割を、地域として困らぬようしっかりと果たせるように頑張っていきたいと思えます。これからもよろしく願います。

インタビューの一言

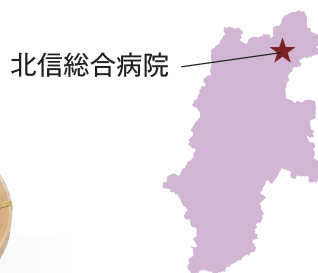
日々の仕事を懸命にされている姿と家族との時間を大切に向き合っており、とても充実されているように伺えました。

短い時間ではありましたが、お忙しいところありがとうございました。





J A長野厚生連は、地産地消に積極的に取り組んでいます。



北信総合病院



北信総合病院
管理栄養士

小林 かおり

今回の主たる食材

新玉ねぎ

3～4月に出荷される早取の玉ねぎ。表面の皮が薄くみずみずしくて辛みが少ないため、サラダにする際にスライスして水にさらさず食べられます。傷みやすいため、取り扱いと保存に注意が必要です。

食材の栄養価と特徴

血液サラサラだけじゃもったいない

玉ねぎの成分で最も多いのは糖質（炭水化物）です。ねぎ類に共通する硫化アリルはコレステロールの代謝を促し血液をサラサラにして、動脈硬化や高血圧、糖尿病、脳血栓などを予防してくれます。また、疲労回復に必要なビタミンB₁の吸収を助けて新陳代謝を活発にします。

新玉ねぎの栄養価

(100g当たり)

エネルギー：37kcal
炭水化物：8.8g
たんぱく質：1.0g
脂質：0.1g

レシピ

新玉ねぎのフライ

新玉ねぎの甘味とみずみずしさを引き立てる1品です。

材料 (1人分)

- 新玉ねぎ 1/2個
- 豚ロース薄切り 3枚
- コショウ 少々
- 小麦粉 8g
- 溶き卵 8g
- パン粉 10g
- 揚げ油 適宜

作り方

- ① 新玉ねぎ1/2個は、くし型に3等分する。
- ② 豚ロース肉は広げてコショウをして①の玉ねぎを包む。
- ③ 小麦粉、溶き卵、パン粉の順に衣をつけ、手で押さえ衣を落착させる。
- ④ 170℃の油でカラッと揚げる。
- ⑤ 器に盛り、付けあわせの野菜を添える。
醤油やぼん酢など好みの調味料でどうぞ。



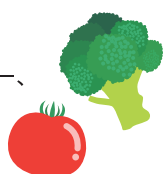
1人分の栄養素

エネルギー：300kcal
たんぱく質：13g
脂質：20g
食塩：0.2g

調理のPOINT!

玉ねぎの代わりに蒸したじゃが芋や茄子・ズッキーニなど季節の野菜でも応用できます。

付けあわせはブロッコリー、
トマトなどお好みで



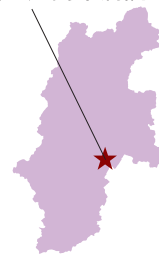
健康

富士見高原医療福祉センター
富士見高原病院
皮膚排泄ケア認定看護師、診療看護師

桐生 奈美



富士見高原
医療福祉センター
富士見高原病院



お肌の役割と、スキンケアのポイント ～カサカサお肌にお悩みの方へ～

Q1. お肌の役割は？

皮膚、お肌には、外界からの異物の侵入や体液の喪失を防ぐバリア機能、毛穴を開閉することによって行う体温調節作用、汗や皮脂を分泌する分泌作用などさまざまな機能があります。それら皮膚の生理機能を良好に維持、更には向上させるために行うのがスキンケアです。

次に「保護」です。保湿剤は、皮膚表面に膜を作って水分の蒸発を防ぐ役割と、皮膚に水分を与えてバリア機能を保つ2つの役割があります。保湿剤には、軟膏、クリーム、ローションがあります。寝る前は、油分が多く保湿効果が非常に高い軟膏を、日中は保湿効果が少し劣りますがベタベタせずに使用感の良いクリームやローションなど使い分けることもお勧めです。

Q2. スキンケアのポイントは？

スキンケアの基本は、「洗浄」と「保護」です。皮膚は、表皮の下層で新しい細胞が生まれ、それが表面に押し出され、古い皮膚が自然に剥がれ落ちるということを繰り返しています。古い皮膚には皮脂などが付着していて、その付着しているものを除去することが必要で、それが「洗浄」です。石鹸や液体洗浄剤は泡立てることで、洗浄力を発揮します。なお、スポンジやナイロンタオルは皮膚表面にある角質層を剥がし、乾燥を助長してしまうことがあります。優しく手で洗う、手ぬぐいを使用するなどしてください。



また、保湿剤は入浴後10分以内に塗ることがお勧めです。入浴後は皮膚が潤っているように見えますが、表面に水分が残っているだけで、すぐに蒸発してしまいます。蒸発する前に保湿剤を塗ることが重要で、さらに朝と夜のお風呂上がりの一日2回以上塗ると効果がアップします。使用量は、一般的な体格の男性の背中に保湿剤を塗る場合、チューブタイプなら人差し指1本分、ローションタイプでは一円玉3枚分の量が必要になります。

なお、皮膚のトラブルは、内臓疾患などの指標になる場合もあります。適切なスキンケアをしても改善しない皮膚のトラブルは、皮膚科医にご相談ください。

佐久総合病院 看護専門学校だより

佐久総合病院看護専門学校



佐久大学との連携協定締結式

2月22日、佐久大学（佐久市）において、協定締結式を執り行いました。この式典は、本校と学校法人佐久学園佐久大学の教育活動における交流を促進し、包括的な連携・協力によって、地域の発展と保健・医療・福祉分野における人材育成に寄与することを目的としています。

具体的には、教育・教員・学生・施設間の相互交流で、両校がお互いの特長を活かし、分かち合いながら連携協力し教育環境を構築していく協定となります。今後、佐久大学の図書館等利用・教育研究、佐久看護の実践的教育内容の共有・学生同士のサークル活動推進…など、両校にとって大変希望が湧いてくるさまざまな連携が期待できます。



令和5年度 62期生卒業式

3月5日、62期生77人の卒業式を挙行了しました。今年度は昨年に続き、保護者参加が可能となりました（4月の入学式からはコロナ前のように来賓や在学生在が参列する式典になります）。



JA長野厚生連の洞和彦代表理事からは「若月俊一先生が提唱した『農村医療』は、保健予防活動から始まり、現在まで脈々と続いています。各厚生連病院には、地域に根ざした活動をしている先輩方がたくさんいます。今後は時代に即した課題に向き合っていかなければなりません。ともにより良い医療をめざしましょう」とのお言葉をいただきました。

また、渡辺仁学校長は「今後の医療においては、『Cure』から『Care』が重視されるようになります。たくさんの病気を治すことと、患者さんの生活をどう支えるかが重要になります。

多職種連携が大事ですので、一人で悩まず、分からないことがあれば先輩に質問し、3年間共にした仲間も大切にしてほしい。人間はAIとは違い、目の前の人間性をどう築くかを重視します。愛こそが最大の技術となるのです」と述べました。

答辞の62期生代表者の尾本磨柚さんから、実習先での臨床指導者の方々、教員への感謝の気持ちが述べられ、また、家族への感謝の思いと3年間の熱い思いが伝わってきました。

今回も式典のなかで、参列できなかったJA長野厚生連各病院の統括院長、看護部長ほか本校卒業生の皆さんより、心温まるビデオメッセージをいただき、参列者は大変感激していました。大変感動的で素晴らしい式典を挙行することができました。



入試情報

令和7年度
入試案内は
こちらへ



2023年度 介護福祉士 テクノエイド研修会を開催しました！

（※テクノエイド＝高齢者や障がい者、要介護者などの個々の状態や活動特性に合わせて、生活をサポートするための道具やツール）

腰痛は、働く人が業務において罹患することが最も多い疾病です。特に介護業務においては、腰部に過重な負担のかかる作業が多くあります。実際に介護業務を含む保健衛生業において発生する業務上疾病のうち、約8割を腰痛が占めています。また、老人介護分野においては、今後一層の高齢化の進展により介護労働者の増加が見込まれ、腰痛についてもその増加が懸念されています。

そのなかで当会では、厚生労働省が示している「職場における腰痛予防対策指針」に基づき、ノーリフトに関する指導的役割を持つリーダーの養成を目的に「テクノエイド研修」を実施しています。レベルに応じて中級・上級と分かれ2023（令和5）年7月には

外部講師を招き、課題解決に向けた実践の検討を、介護ベッドを用いながら具体的に行いました。



▲ テクノエイド研修会の様子

また、同年12月には学んだ内容を活用した取り組みを行い、その経過や効果について事例発表を行いました。そのなかで、厚生連全体で共有すべき改善事例を「優秀賞」と「優良賞」として、中級・上級から2人ずつ選定しました。介護職の質の向上、さらなる視野の拡大と次世代リーダーへの成長を期待しています。

各級の受賞者と発表演題名は下記のとおりです。より詳細な内容は、当会ホームページ「介護福祉士の取り組み」ページにありますので、ぜひ閲覧ください。

長野県厚生連ホームページ
<https://www.nagano-kousei.jp>



富士見高原医療福祉センター
老人保健施設「みづうみ」

すぎやま かず え
杉山一江さん

演題名
「ベッドコントローラーを使用した離床」



佐久総合病院
小海分院

よしおか ち え み
吉岡千恵美さん

演題名
「ベッド上患者のスライディングボード活用事例」



下伊那厚生病院
デイケア なごみ

くま けい え み
熊谷恵美さん

演題名
「床走行リフト活用による介護者、利用者の身体的負担の軽減」



鹿教湯三才山
リハビリテーションセンター

やま もと まさ ひと
山本雅史さん

演題名
「移動に関する介護を行う上でのヒヤリハット（インシデント・アクシデント例）」

長野県長野で 第一線の地域医療を 私たちと実践してみませんか。

医師募集

私たちと一緒に、地域医療を実践しませんか。

長野県は低医療費・長寿で有名です。本会は県下に13病院を有し、救命救急センターや周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院などさまざまな指定を受け、保健・医療・福祉活動を包括的に展開し、その一翼を担っています。

信州の自然豊かな環境のなかで、四季折々の変化を存分に感じながら、一緒に地域医療を実践しませんか。

薬剤師・医療技術職 随時募集中

お問い合わせは下記または各病院まで

長野県厚生農業協同組合連合会 人事部 人材育成課

〒380-0826 長野県長野市南長野北石堂町1177番地3（JA長野県ビル10階）

☎026-236-2305 E-mail:saiyo@kou.nn-ja.or.jp FAX:026-236-2307

看護師募集

夢が実現できる

看護職のキャリア形成を支援します!!

- 新人看護職の卒後研修が充実しています
- 再就職支援をさまざまな形でを行っています
- 院内保育所や育児介護支援制度などがあります
- 認定看護師など資格取得を支援します

地域医療を担うメンバーとして
共に歩んでみませんか



JA長野厚生連
facebookのご案内

当会の活動や情報など、
随時情報発信しています。
ぜひ、ご覧ください。



編集後記

春になり、外出も楽しい時期になりました。最近は四季が無くなり二季になってくると言われていますが、1年を通して暑さが続く日が多く感じるようになりました。今年の夏も暑い、暑いと言いながら過ごしていそうな気がします。(A・Y)

「厚生連ながの」の感想をお聞かせください。

JA長野厚生連 本所「厚生連ながの」係

〒380-0826 長野県長野市南長野北石堂町1177番地3（JA長野県ビル）

FAX: 026-236-2307

E-mail: info.honsyo@kou.nn-ja.or.jp

表紙のひとこと

「依田川鯉のぼり」

撮影者：鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院

みやした 宮下 祐典



当写真は2023年春に撮影したもので、前年と前々年の2年間はコロナ禍の影響で医療従事者の皆さんへの感謝ということで医療のテーマカラーの青色の鯉のぼりのみの掲揚でしたが、写真撮影時の2023年はコロナも5類へ移行し、多くの色の鯉のぼりの掲揚に久々に戻りました。鯉のぼりが一生懸命泳いでいる様子に元気づけられます。

<https://nagano-kouseiren.jp>



● 佐久総合病院 ☎0267-82-3131
● 佐久医療センター ☎0267-62-8181
● 小海分院 ☎0267-92-2077
● 浅間南麓こども医療センター ☎0267-22-1070
● 北アルプス医療センター
● あづみ病院 ☎0261-62-3166

● 長野松代総合病院 ☎026-278-2031
● 附属若穂病院 ☎026-282-7111
● 北信総合病院 ☎0269-22-2151
● 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
● 鹿教湯病院 ☎0268-44-2111

● 南長野医療センター
● 篠ノ井総合病院 ☎026-292-2261
● 新町病院 ☎026-262-3111
● 富士見高原医療福祉センター
● 富士見高原病院 ☎0266-62-3030

● 下伊那厚生病院 ☎0265-35-7511
● 長野PET・画像診断センター ☎026-269-0550
● 健康管理センター ☎0267-82-2677
● 佐久総合病院看護専門学校 ☎0267-82-2474
● JA長野厚生連 本所 ☎026-236-2305